

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年5月6日(2021.5.6)

【公表番号】特表2020-512385(P2020-512385A)

【公表日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2020-016

【出願番号】特願2019-553971(P2019-553971)

【国際特許分類】

C 07 K 14/315 (2006.01)

C 07 K 1/22 (2006.01)

【F I】

C 07 K 14/315 Z N A

C 07 K 1/22

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月26日(2021.3.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

直鎖炭化水素鎖に結合した抗体結合ペプチドを含む免疫両親媒性物質。

【請求項2】

前記抗体結合ペプチドが生理的pHの水溶液中にあるときにヘリックス構造を有する、請求項1に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項3】

前記抗体結合ペプチドが黄色ブドウ球菌のプロテインAのZ33ペプチドの親水性アミノ酸配列、またはその機能的部分もしくは断片もしくは誘導体を有する、請求項1に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項4】

前記抗体結合ペプチドがアミノ酸配列FNMQQQRRFYEAFLHDPNLNEEQRNAAKIKSIRDD(配列番号1)、またはその機能的部分もしくは断片もしくは誘導体を有する、請求項1に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項5】

前記直鎖炭化水素鎖は、長さが約8から約22個の炭素の少なくとも2つの炭化水素鎖を含む、請求項1に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項6】

前記直鎖炭化水素鎖が、長さが約8個の炭素の少なくとも2つの炭化水素鎖を含む、請求項5に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項7】

蛍光色素に結合される、請求項1に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項8】

前記蛍光色素がローダミンBである、請求項7に記載の免疫両親媒性物質。

【請求項9】

以下の工程を含む、抗体またはFc融合タンパク質の精製方法：

a) 請求項1～8のいずれか一項に記載の免疫両親媒性物質を生理的pHの水溶液に溶解させ、該免疫両親媒性物質が免疫纖維(IF)に自己集合するように一晩熟成させる

工程；

b) 抗体またはFc融合タンパク質を含む試料を前記IFと混合し、これにより、前記IFを抗体またはFc融合タンパク質のFc部分に結合させ、溶液中に免疫纖維-抗体複合体または免疫纖維-Fc融合タンパク質複合体を形成させる工程；

c) 塩を加えて遠心分離することにより、前記免疫纖維-抗体複合体または前記免疫纖維-Fc融合タンパク質複合体を溶液から分離する工程；ならびに

d) 前記IFを前記抗体またはFc融合タンパク質から解離させ、未結合の抗体またはFc融合タンパク質を収集する工程。

【請求項10】

前記pHを溶出条件に下げることおよび濾過または精密濾過により、前記IFを前記抗体またはFc融合タンパク質から分離する、請求項9に記載の方法。